

会 社 名 フリービット株式会社  
(コード番号 3843:東証 マザーズ)  
本社所在地 東京都渋谷区円山町3番6号  
代 表 者 代表取締役社長 石田 宏樹  
問 合 せ 先 グループ経営管理本部長 清水 高  
電 話 番 号 03-5459-0522(代 表 )  
(URL <http://www.freebit.com/>)

## 新中期経営計画骨子公表のお知らせ

平成26年4月期～平成28年4月期の3ヵ年中期経営計画「SiLK VISION 2016」の骨子を以下のとおり公表いたします。弊社の事業領域は大変変化の激しい業界でございますが、まずは、弊社が考える3年後の世界と戦略の方向性をお示しさせていただきます。今後、社会環境等の変化に合わせて、随時アップデートをさせていただき所存です。

詳細の内容は、本日開示いたしました平成25年4月期第3四半期決算説明資料 (Financial Presentation For 3Q, 2013) をご確認ください。また、今回発表の主な内容は以下のとおりです。計画の詳細に関しましては、平成25年6月に予定しておりますフリービットグループの平成25年4月期決算発表の際に再度ご説明いたします。

### 1. 中期経営計画「SiLK VISION 2013」の成果

当社グループは、平成25年4月期を最終年度とする中期経営計画「SiLK VISION 2013」において、独自技術を基礎とした「Smart Infra提供事業」としてクラウド、モバイル領域の独自参入やM&A等を通じた事業領域の拡大を積極的に行い、インフラ事業の多角化を推進してまいりました。その結果、クラウド事業のVDC (仮想データセンター) においては大手ナショナルブランドの他、大手ソーシャルゲーム会社のプラットフォーム上の推奨環境にも採用され、現在は約200社との取引実績に至る事業規模へと成長させ、平成24年4月期第4四半期において黒字転換を達成いたしました。さらに、平成22年7月には、インターネット広告事業を営む株式会社フルスピードの公開買付を行ったことにより、インターネットマーケティング領域を拡大し、当社の技術を組み込みアドテクノロジーサービスへと発展させることで、顧客企業を支援するインフラサービスをワンストップで提供できる体制を整えました。これらのグループ戦略が功を奏し、グループシナジーを活かした事業及び技術コンポーネントの整備とブロードバンド、クラウド、インターネットマーケティング、次世代インターネットのマルチレイヤー化の準備が整いました。

### 2. 新中期経営計画「SiLK VISION 2016」の背景

「SiLK VISION 2016」においては、「SiLK VISION 2013」で実現した、ブロードバンド、クラウド、インターネットマーケティング、次世代インターネットの4つのレイヤーのコンポーネント/製品を個別に提供するのではなく、垂直統合させ、徹底した顧客志向のサービスを創出していく「Multi Layer Component Integration (MCI 戦略)」と、それらの垂直統合されたサービスを既存販路に加え、今後の3年間で活性化してくることが予想される「モバイル革命」「生産革命」「生活革命」の3つの革命領域に水平展開してまいります。

「モバイル革命」領域におきましては、スマートフォンやパッド機器の普及が急速に進み、大きな市場変革期を迎えようとする中、当社の世界12の国及び地域で特許取得済の各種仮想化/SDN (Software Defined Network) 技術や長年の接続インフラ運営ノウハウを活かした新たな事業戦略の立案と実行により、MVNO領域における国内有数事業者としてのポジション獲得を目指してまいります。また、「生産革命」領域 (M2M領域) におきましては、21世紀の産業革命とも言われる「Maker Movement」(世界中で創作活動を行う工房やガレージがオンライン化し、最新のデジタルツール (3Dプリンタ、CAD等) を用いてモノ作りプロセスとウェブ文化とをコラボレーションさせることで、これまでのDIYには見られない大規模の創作活動が可能となり個人が“メーカー”としてビジネスが出来る動き) が巻き起こる中、当社の「Plug in Cloud」を適用し、従来のWiFi家電に加え、設定不要の3G/4G接続環境を組み込んだ、「SIM家電領域」へ新たな切り口で参入する予定です。また、「生活革命」領域に起きましては、本日発表の「Cloud@Card」(日本名Cloud@SD) を利用した中国有力医療機器メーカーであるNew Tech社との戦略的提携を皮切りに、医療機関と連携させたプラットフォーム



開発、各種センサー医療システムへの参画、そして、その事例やノウハウを活用した統合的な展開を行なってまいります。

クラウド領域については、既存の成長に加え、中国本土での次世代クラウドの実現に向けた取組みを実施し、事業拡大を図ってまいります。

### 3. 平成 28 年 4 月期 業績目標

売上高	営業利益
300 億円	30 億円

※上記目標は、既存事業に加え、コスト削減及びグループ事業効率化、新規事業の立上げ等を織込み設定しておりますが、現時点の目標営業利益につきましては、ブロードバンドインフラにおける固定網の減少やグループ会社の利益水準、新規事業の成長スピードを保守的に見積もっております。更に詳細な事業計画については、平成 25 年 4 月期の決算発表時に公表する予定です。

### 4. 「SiLK VISION 2016」の基本方針

ロゴ



「SiLK VISION 2013」で取得したマルチレイヤーサービスの顧客志向による垂直統合(MCI)と水平展開を表現しています。

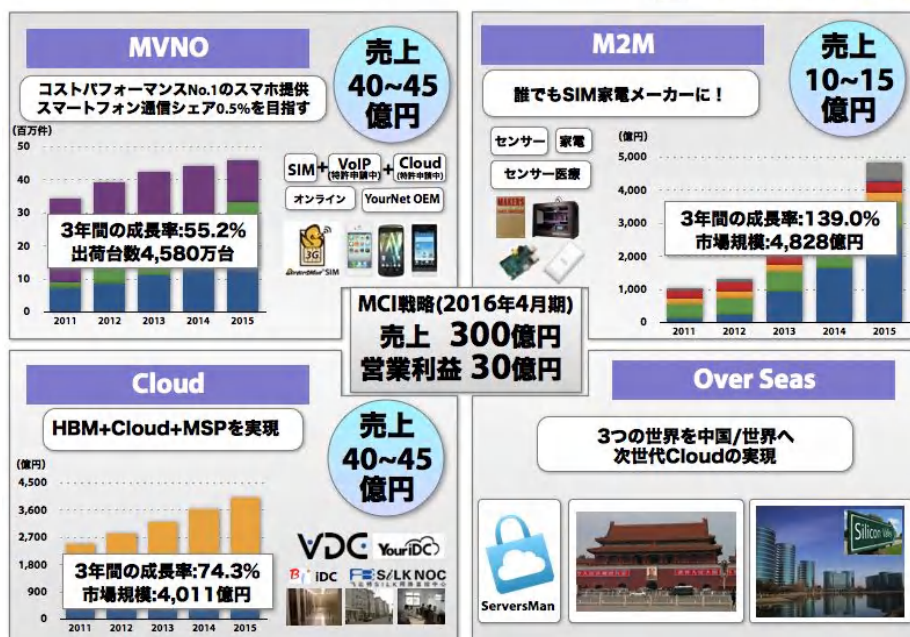
テーマ

## Multi Layer Component Integration(MCI)戦略

×

## 3つの革命（モバイル革命、生産革命、生活革命）

SiLK VISION 2016



以 上